

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-082821

(43)Date of publication of application : 16.03.1992

---

(51)Int.Cl.

A61K 7/16

A61K 6/00

---

(21)Application number : 02-192990

(71)Applicant : KAWAI JUN

(22)Date of filing : 23.07.1990

(72)Inventor : KAWAI JUN

---

## (54) BEAUTIFYING AGENT OF TEETH

### (57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a safe and hygienic beautifying agent of teeth, pleasantly applicable, providing natural luster and whiteness, comprising a solution of shellac resin in ethanol.

CONSTITUTION: 30-50wt.% shellac resin prepared by purifying secretions of scale insect is dissolved in 30-70wt.% ethanol and further mixed with 0-30wt.% water and stirred to give a uniform solution. The solution is optionally blended with 0.1-5wt.% fish scale foil into a dispersion and, if necessary, 0.001-0.5wt.% hydrophilic emulsifying agent is added to the water layer. The dispersion is properly mixed with a natural deodorant (e.g. extract of green tea), an antimicrobial agent (e.g. Japanese radish or extract of bamboo) or spice (e.g. lemon or orange essence), packed into a portable application container of knock type and prepared to give the objective substance. Teeth can be beautified any time any place readily by packing the substance into the container of knock type.

---

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

## ⑫ 公開特許公報(A)

平4-82821

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>A 61 K 7/16  
6/00

識別記号

Z

庁内整理番号

7252-4C  
7019-4C

④ 公開 平成4年(1992)3月16日

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全3頁)

⑭ 発明の名称 歯の美容剤

⑰ 特 願 平2-192990

⑱ 出 願 平2(1990)7月23日

⑲ 発 明 者 川 井 順 東京都八王子市めじろ台4丁目5番地の3

⑳ 出 願 人 川 井 順 東京都八王子市めじろ台4丁目5番地の3

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

歯の美容剤

## 2. 特許請求の範囲

1 セラック樹脂30～50重量%のエタノール  
溶液からなる歯の美容剤。2 魚鱗箔0.1～5重量%を含む特許請求の範  
囲第1項記載の歯の美容剤。3 天然の消臭剤、防菌剤、香料のいずれかま  
たは2つ以上を加えてなる特許請求の範囲第  
1項または第2項記載の歯の美容剤。4 ノック式携帯用塗布容器に充填してなる特  
許請求の範囲第1項、第2項または第3項記  
載の歯の美容剤。

## 3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は心地よく塗布でき、優れた自然の光沢  
と白さを与える、安全で衛生的な歯の美容剤に関  
する。

## 〔従来の技術〕

歯の美容を目的とした市販の塗布剤として、唯  
一N社の製品があるが、この製品は十年以上にわ  
たつてほとんど進歩がなく次のような欠点がある。

- (1) 合成溶剤が歯ぐきや口腔粘膜および鼻粘膜  
を強烈に刺激し、使用感が極めて悪い。
- (2) 無機性の合成白色材を使用しているためか  
白色性が人工的で不自然である。
- (3) 合成の基材や溶剤を使用しているため、炎  
症を起したり、体内への吸収など安全衛生上  
大きな不安がある。

## 〔発明が解決しようとする問題点〕

前述のように従来品には(1)使用感の不良(2)不  
自然な効果(3)安全衛生上の不安などの問題点がある。

## 〔問題点を解決するための手段〕

上記の問題点を解決するために研究を重ねた結  
果、シセラック樹脂を、単独または魚鱗箔と併用  
して、エタノールに溶解分散した溶液が、使用者に  
対して、心地よく塗布され、自然の光沢とパール  
のような輝きを与え、安全で衛生的に美容の目的を

達することを見出し、本発明を完成した。

本発明はセラック樹脂30～50重量%を、単独または魚鱗屑0.1～5重量%を併用して、エタノールに溶解、分散してなる歯の美容剤である。

セラック樹脂30重量%未満では、皮膜形成が遅く、皮膜が薄くなるため強度が弱くなり、光沢度やパールよう輝きも不足する。50重量%を越えると、固化が早過ぎるため、歯布が困難になるなどの欠点が生ずる。

本発明に使用されるセラックは、カイガラムシの分泌物を精製して得られる水、油に不溶、エタノールに可溶の樹脂で、食品、化粧品、医薬の材料として使用されている。魚鱗屑はグアニンを主成分とする魚の鱗であり、エタノールは酒の主成分として多年親しまれてきた醸造生産物である。このように使用される原材料が、安全で衛生的な天然物に限定されているため、本発明の美容剤は人体に対する作用が穏和で、心地よく安心して使用でき、自然の光沢と白さの美容効果を挙げることができる。

- 3 -

溶液として塗布すると、エタノールが親水性であるために歯によく延展し、エタノールが揮発すると、自然の光沢性を有する皮膜が形成される。この皮膜は耐水耐油の強固な皮膜であるため、食物の摂取咀嚼によつても剝離溶出せず、美容効果が持続する。魚鱗屑の添加は、無機質の白色材（例えば二酸化チタン）と異り、パールのような自然の輝きと白さを与え、一層美容効果を発揮する。使用するエタノールは、安全衛生的であるばかりでなく、揮発性であるために、皮膜の形成固着が早く、さわやかな使い心地にも役立つている。

#### 〔実施例〕

##### 実施例 1

無水エタノール10.0gに対し、精製セラック10.0gを加えて溶解する。この50重量%のセラック溶液9.0gに対し、水1.0gを加えてよく攪拌し、均一な美容液とする。この美容液をノック式携帯用歯布容器に充填し、使用すると、心地よく容易に塗布でき、歯は自然の美しい光沢にメイクアップされた。

- 5 -

本発明の実施に当つては、通常精製セラック30～50部にエタノール30～70を加えて溶解し、さらに水0～30部を加えてよく攪拌し均一な溶液とする。場合により、魚鱗屑0.1～5部を加えて分散液とする。必要により親水性乳化剤0.001～0.5部を水層に添加する。

天然の消臭剤（緑茶抽出物など）、抗菌剤（ワサビ、笹抽出物など）、香料（レモン、オレンジエッセンスなど）をそれぞれ単独または組合せて添加することにより、口内をさらに清潔に美容することができる。

本発明の美容剤はノック式携帯用歯布容器に充填することにより、いつでも、どこでも容易に歯を美容することができる。ノック式携帯用歯布容器は、本体、刷毛、およびキャップで構成され、本体の液室容積がノックにより縮少、加圧されることにより、液が刷毛に浸出する構造となつている。

#### 〔作 用〕

水および油に不溶のセラック樹脂をエタノール

- 4 -

##### 比較例 1

市販美容剤を付属のコップに移し、添付の刷毛を用いて塗布したところ、強い刺激臭と歯ぐきおよび口内粘膜への刺激によつて、前歯全面の塗布は不可能であつた。塗布できた歯は異常に白く自然の美しさは認められなかつた。

##### 実施例 2

実施例1で得られた50重量%のセラック溶液8.0gに対し、緑茶抽出液5g、魚鱗屑ペースト（魚鱗屑25%）5g、シロ糖脂肪酸エステル（HLB11）0.5%水溶液1.0gを、順次加えて均一な溶液とする。この美容液をノック式携帯用歯布容器に充填すると、外出先でも極めて容易に塗布することができ、パールのような美しい輝きは緑茶の消臭効果とともに気分をさわやかなものにした。

#### 〔発明の効果〕

本発明の歯の美容剤は、市販品の欠点が完全に除去された結果、(1)、使い心地がさわやかで極めてよく、(2)、美しい自然の光沢やパールような輝

- 6 -

きを得られ、(3)．安心して衛生的なメイクアップ  
が可能になった。

美容上の効果にとどまらず保健衛生上、社会上、  
経済上の波及効果も極めて大きい。

特許出願人 川 井 順